

## 発寒ひかり 保育園だより

2019年  
4月号

### 巻頭言

去る3月9日、第50回卒園式が行なわれました。

卒園児一人ひとりに、私から次のようなメッセージを贈りました。「友だちや先生が困っている時に、そっと励ましたり、手助けする優しいお姉さんです。大好きな太鼓の達人になったら、演奏会にみんなを招待してね」「製作の名人。小さい子に、絵本やわらべ歌で遊んでくれる優しいお兄さんです。宇宙飛行士になったら、宇宙から子どもたちにメッセージを送ってくださいね」

次の歌詞は、卒園児たちがたくさん合唱した歌の一つです。「友だちはいいもんだ。目と目でものが言えるんだ。困った時は力を貸そう。遠慮はいらない。いつでもどこでも君を見てるよ。愛を心に、君と歩こう。みんなは一人のために、一人はみんなのために。みんなは一人のために、ひとりのために。(一番)」

保護者からは、次の感想が寄せられました。「(略) 子どもたちの成長に涙、涙でした。大きな家庭であるひかり保育園で愛情いっぱい育てていただき、家庭ではできない経験やつながりができた6年間でした。小さい頃の大切な心の部分をはぐくんできていただき、感謝のことばしかありません。(略)」「(略) 大きくなった子供達の顔や、凜として証書をもらう姿、先生方にハグをされ号泣する姿。心豊かに育っている様子を見て感動でした。(略)」「(略) 涙、涙でした。ひかり保育園に入って(略) 本当に良かったなと感じました。毎日安心して送り出すことができたのは、先生・職員の方々のお陰です。感謝の気持ちでいっぱいです。(略)」

私たちこそ、子どもたちに癒され、励まされ、保護者の皆さまに支えていただきました。心より感謝申し上げます。

(裏面に、ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんの講演の記事を載せました。ご覧ください。)

園長 吉田 行男

# マララさん「女子教育へ投資、未来作る」

女性が教育を受ける権利を訴えてノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさん(21)が25日、東京都内で開かれた政府主催の第5回国際女性会議と主要20カ国・地域(G20)に政策提言を行う「Women 20(W20)」の合同セッションで講演した。マララさんは「今、女子教育に投資すれば、想像できないほどの未来を作ることができる」と訴え、各国に支援を求めた。

## 国際女性会議で講演



基調講演をするマララ・ユスフザイさん＝25日午前、東京都千代田区、代表撮影

マララさんはバキスタン出身。女性が教育を受ける権利を訴え、2012年10月にイスラム武装勢力に銃撃された。現在は英オックスフォード大に通う。

講演で「過激派は教育の権利を訴えた私を攻撃した。でも失敗した」と主張。「私の声は大きくなっている。今、学校に行くことができない1億3千万人の子どもを代表してここにいる」と語った。また、全ての女子が中等教育を受けられれば、30兆円の経済効果があるとの試算を紹介。「我々は行動を起こさなければいけない」と呼びかけた。

安倍晋三首相は国際女性会議のあいさつで、日本政府として途上国の女子教育の支援を表明。「20年までの3年間で、少なくとも400万人に上る途上国の女性たちに質の高い教育、人材育成の機会を提供して参ります」と述べた。

講演で「過激派は教育の権利を訴えた私を攻撃した。でも失敗した」と主張。「私の声は大きくなっている。今、学校に行くことができない1億3千万人の子どもを代表してここにいる」と語った。また、全ての女子が中等教育を受けられれば、30兆円の経済効果があるとの試算を紹介。「我々は行動を起こさなければいけない」と呼びかけた。

## マララの翼 切らなかつた

### 来日の父シアウディンさん語る



を上げると、マララさんも続いた。2012年、マララさんは武装勢力に銃撃を受けた。シアウディンさんは「家族にとつての悲劇が起きた。今マララが生きていることは奇跡だ」と振り返った。

ノーベル平和賞受賞者のマララ・ユスフザイさんの父、シアウディン・ユスフザイさん(49)が24日、東京都内で朝日新聞の取材に応じた。シアウディンさんは「マララにどんな特別なことをしたのかと人々に聞かれるが、私は彼女に教育を与え、翼を切らなかつただけだ」と語った。シアウディンさんはマララさんとともに日本政府主催の「第5回国際女性会議WAWI」に招かれ、初来日している。女子教育の権利を訴えてきたシアウディンさんは、パキスタン西北部スワット地区で1994年に学校を設立。マララさんも生徒として通った。シアウディンさんが女子教育を禁じるイスラム武装勢力に反対の声を示している」と語った。

(代表撮影)